

協力関係施設
施設長及び管理者 様

南庄内緩和ケア推進協議会
会 長(鶴岡地区医師会長) 土田 兼史
庄内プロジェクト緩和ケアを学ぼう会グループ
リーダー 鶴岡市立荘内病院 和泉 典子

令和元年度第 1 回 庄内プロジェクト 緩和ケアを学ぼう会

新緑の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、庄内プロジェクトの活動につきまして、関係する多くの医療・福祉機関の皆様より、格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今回の『緩和ケアを学ぼう会』は、グループホームでの看取りまでの支援の取り組みと、自宅での生活を望むがん末期の支援事例、がんの痛みへの対応や麻薬の管理等がん患者さんのケアに必要な基本的なところに焦点をあてて講義を行う予定です。現場でがん患者さんに直接対応している介護員やヘルパーの皆さんにも是非知っていただきたい内容となっております。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、貴施設の医療職、介護福祉職、職種を問わず、お気軽にご参加下さいますよう、お声かけよろしくお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和元年 6 月 3 日 (月) 18 時 30 分～20 時 00 分
2. 対 象 病院、医療機関、介護施設、サービス提供事業所 (短期入所、通所介護、訪問介護、訪問入浴) での医療や看護・介護ケアに関わる医師、歯科医師、看護師、准看護師、リハビリ職、薬剤師、栄養士、歯科衛生士、ケアマネジャー、ヘルパー、社会福祉士、相談員、ほか関心のある方
3. 場 所 鶴岡市立荘内病院 3 階 講堂
4. 内 容 (1) 事例・取り組み紹介
 - ①「最期まで自宅で過ごすことができた末期がん女性の事例」
～1 人暮らしでも自宅で過ごすことはできますか?と聞かれて～
指定居宅介護支援事業所みどり 管理者 主任介護支援専門員 伊藤 優梨 氏
 - ②「最後まで自分らしく～家庭的な雰囲気なかで家族の想いと共に～」
グループホームいろ花の里 介護員 高山 謙一 氏(2) 講義
「がんの緩和ケア～痛みの評価と治療、医療用麻薬の自宅や施設での管理について」
鶴岡市立荘内病院 内科医長・緩和ケアチーム医師 和泉 典子 氏
篠田訪問薬局 薬剤師 篠田 太郎 氏
5. その他 参加については別紙にご記入の上、下記の連絡先に FAX でご連絡下さい。
参加申込み締切: 令和元年 5 月 27 日 (月)

事務局

緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川

(荘内病院 地域医療連携室内) 担当 佐々木・齋藤

電話 26-5180 (直通) FAX 26-5156

緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川 行き

FAX：0235-26-5156

参加申込み書

締切→令和元年5月27日(月)

令和元年6月3日(月)の
第1回 庄内プロジェクト 緩和ケアを学ぼう会 に参加します。

所属施設名

TEL

NO	参加者氏名	職種
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

事務局

緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川

(庄内病院 地域医療連携室内) 担当 佐々木・齋藤

電話 26-5180(直通) FAX 26-5156